

平成 30 年度 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認
障がい者スポーツコーチ養成講習会
開 催 要 項

- 1 目 的 パラリンピックをはじめとする国際大会で活躍する競技者に対し、専門的に育成・指導ができる高度な技術を備えた指導者を養成することを目的とする。
- 2 主 催 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
- 3 日 程 【前期】平成 30 年 6 月 22 日（金）～6 月 24 日（日）：3 日間
【後期】平成 30 年 12 月 7 日（金）～12 月 9 日（日）：3 日間
- 4 場 所 【前期】国立スポーツ科学センター（〒115-0056 東京都北区西が丘 3-15-1）
<https://www.jpnsport.go.jp/jiss/>
【後期】味の素ナショナルトレーニングセンター（〒115-0056 東京都北区西が丘 3-15-1）
<http://www.ntc.naash.go.jp/index.html>
- 5 定 員 30 名（定員を超えた場合は、抽選となります）
- 6 受講資格 下記の①、②のすべてを満たす者。
① 日本障がい者スポーツ協会公認の中級または上級障がい者スポーツ指導員資格の有資格者。
② 日本障がい者スポーツ協会登録競技団体に所属し、コーチとしての活動に実績を有し、所属団体の推薦がある者。

7 申し込み先・問い合わせ先について

別紙の受講申込書に必要事項を記入し、郵送にて下記まで送付すること。また、別紙、推薦書は必ず推薦団体により作成し捺印の上、受講申込書に同封すること。なお、競技団体に複数名の推薦を行う場合は、必ず優先順位を競技団体推薦書に記入すること。

◆申込先：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 スポーツ推進部
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-13-6 ユニソ水天宮ビル 3F
部直通 TEL：03-5695-5420 FAX：03-5641-1213

- 8 申込期間 平成 30 年 4 月 23 日（月）～ 5 月 9 日（水）＜必着＞
- 9 受講者の決定
（1）申込書および推薦書に記載された内容を確認し、受講者を決定する。ただし、受講資格を満たした者が定員を超えた場合には抽選を行う。
（2）受講の可否については、本人宛に通知する。（申込み締切り後、14 日以内に郵送）
- 10 受講料 20,000 円（前・後期分の資料代、保険料を含む。当日、受付にてお支払いください）

11 講習課程

【前期】：17.5 時間

No.	科目名	時間(分)	No.	科目名	時間(分)
1	国内外の障がい者スポーツの現状	150	5	ピーキング ※2	180
2	日本選手団としての心得	60	6	活動報告①	120
3	アンチ・ドーピング	120	7	指導上のリスクマネジメント	180
4	情報収集と活用 ※1	120	8	スポーツ仲裁と関係法規	120

【後期】：15 時間

No.	科目名	時間(分)	No.	科目名	時間(分)
9	チーム運営上のリスクマネジメント	120	13	最新情報の提供 ※4	180
10	スポーツ心理学	120	14	活動報告②	120
11	メディア対応	120	15	環境と生理	120
12	選手のメンタルマネジメント ※3	120	検定試験（理論）		

※1～4・・・有資格者対象の資格更新のための講習会を兼ねて実施

※ 諸事情により、前・後期の科目が入れ替えになることがあります

12 検定試験

- 1) 受験対象：本講習会の前・後期の全課程を修了した者
- 2) 試験方法：筆記試験
- 3) 合否通知：受験者本人宛に検定試験後 14 日以内に郵送にて送付する。

13 登録

検定試験に合格した者には、障がい者スポーツコーチ資格の登録手続きに関する資料を本人宛に郵送にて送付する。

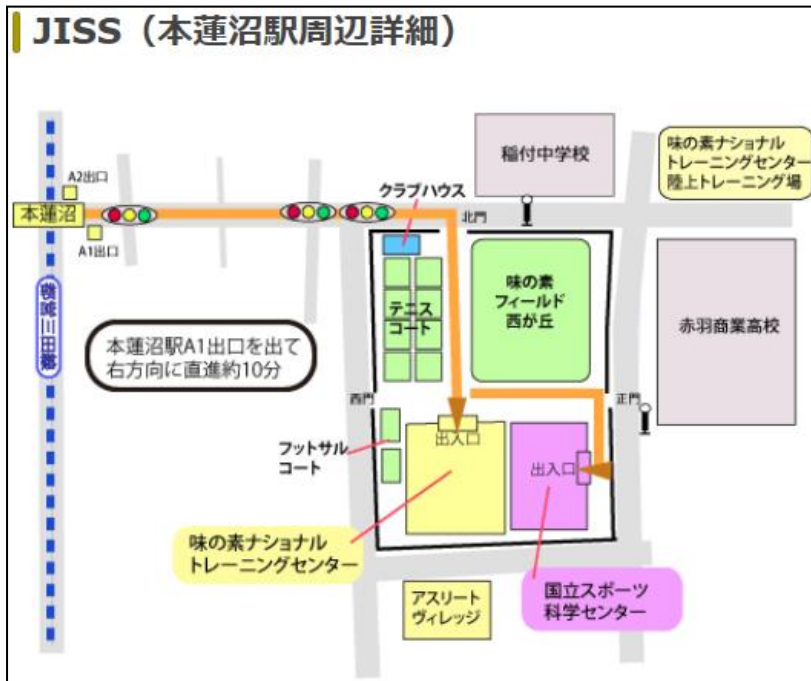
14 その他

- (1) 本講習会受講に際し取得した個人情報、本講習会関係資料の送付および本事業を実施する際に利用し、これ以外の目的に個人情報を利用する場合は、その旨明示し了解を得るものとする。
- (2) 受講者の推薦に際しては、その推薦団体は、上記の受講資格を確認したうえで、さらに推薦者（受講希望者）の障がい者アスリートへのコーチとしての資質、活動実績の状況を判断し推薦をすること。
- (3) 受講者としてふさわしくない行為があったと認められる場合は、受講が取り消される。
- (4) 講習開始時刻より 10 分以上の遅刻は、欠席扱いになるので十分に注意すること。なお、公共交通機関の乱れ・遅れが生じた場合は、「遅延証明書」を必ず持参し事務局に申し出ること。
- (5) 全ての講習において主催者からの許可のない撮影・録音・録画等は禁止とする。
- (6) 手話通訳（要約筆記）が必要な場合は、その旨を申込書に記載すること。手話通訳者（要約筆記）の準備は主催者が行うが、受講キャンセルに伴う手話通訳者（要約筆記）への費用発生については、受講者の負担とする。
- (7) 講習会参加者には、講習期間中の事故と傷害に備え保険を主催者において一括加入する。補償内容は、死亡・後遺障害 1,000 万円、入院日額 5,000 円、通院日額 3,000 円としている。これ以上の補償を望む場合には、個人で別途保険に加入すること。
- (8) 宿泊については、各自で手配すること。

15 会場

前期：国立スポーツ科学センター（下記図の右側の施設となります。）

後期：味の素ナショナルトレーニングセンター（下記図の左側の施設となります。）



最寄駅

- 都営地下鉄三田線 本蓮沼駅下車徒歩 10 分
- JR 埼京線・京浜東北線・宇都宮線・高崎線 赤羽駅下車

赤羽駅西口よりバス

- 4 番乗場池袋行・日大病院行 国立西が丘競技場北門下車徒歩 5 分
- 5 番乗場国立西が丘競技場行き 国立西が丘競技場下車徒歩 3 分